前芝中学校のESD活動

＜活動の概要＞

・「平和」「福祉」「伝統文化」を活動テーマとしている。ＥＳＤの実践を通して「かかわる力」「コミュニケーション力」の育成を目標とする。

・活動の実際

① 平和にかかわる活動（１年生）

・平和学習（７月）

本校の正門の横に高さ２ｍほどの石碑がある。昭和２０年８月７日の豊川海軍工廠への爆撃で犠牲となった前芝国民学校の生徒１０名の慰霊碑である。しかし，何の碑であるか理解している生徒はほとんどいなかった。

そこで，平和教育のプログラムを作成し，この石碑に注目させながら，「戦争と平和」についての学習を展開することにした。また，毎年，ユネスコ協会から講師をお招きし，空襲時の体験を聴く会を開いており，「自分の体のすぐ横を銃弾が走っていった」「避難していたところとは違う防空壕の入口が大爆発した」等，具体的な話を数多く聴くことができ，平和の大切さ，戦争の悲惨さなどを学ぶ貴重な学習となっている。

② 伝統文化にかかわる活動（全校生徒）

・百人一首大会（１月８日、練習は１１月から）

開会行事として、日本の伝統文化である、尺八や箏の演奏を聴き、伝統的な楽器や音楽にふれる機会としている。百人一首は、毎年１１月から練習を始め、美しい日本語や古典に親しむことができている。

③ 福祉にかかわる活動（全校生徒・地域）

・喜寿苑ボランティア（７・８・１２・１・３月）

R6より校区内にある特別養護老人ホーム喜寿苑の職員のお手伝いとしてボランティア活動を行っている。7・８月は、小学生との交流で、一緒にサッカーやドッジボール、お菓子作りなどを行った。１２・１月は、高齢者限定の介護ボランティアで、中学生が前に立ち、簡単な体操をしたり、頭の体操で日付や曜日、天気、昼食の献立のクイズを出したりした。「もっと行きたいと思った」「よい学びができた」「次の機会に生かしたい」といった生徒たちの感想から，人のために働くことのすばらしさを体験できたと思われる。